



本学の図書館には皆さんの学業に関する本だけでなく、日常生活に密接した情報が掲載されている本も多く所蔵されていることをご存知でしょうか。ぜひ一度立ち寄ってみてください。そのうちの一つが「ファッション」についてです。その中で私がおすすめする本は、『日本のファッション：明治・大正・昭和・平成』です。この本は日本で過去に流行したファッションについてイラストと解説でわかりやすくまとめられており、現代のファッションの基礎を知るきっかけになります。

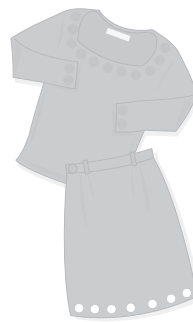
皆さんにとって「ファッション」とはどのようなものでしょうか。多くの人々のファッションは、本やファッション雑誌に掲載されている情報の影響が大きいと思います。しかし、私たちがどのような場面でも好きなファッションを選べるのかといわれると、決してそうではありません。私たちはきちんとその場に合ったファッションを考えます。結婚式であれば、花嫁が着るウェディングドレスの「白」を避けなければいけませんし、お葬式に出席する際には「黒」を着なければいけません。しかし、普段のファッションでは、このようなことを考える必要性はありませんし、自由に自身が着たいも

のを着る人がほとんどでしょう。

私のファッションに大きな影響を与えた人がいます。それは歌手のレディー・ガガさんです。彼女がある日、日本のテレビ番組に出演し、司会者から自身のファッションについて質問を受けました。彼女はその質問に対して「私が服を着るのはこれが私だと証明するためであって、決して私を隠すためではない」と自信満々に答えました。

このように多くの方は、自身のファッションのお手本が存在し、そこから自己流にアレンジを加えて今の自分に応用します。流行を知ることも大切ですが、ふとした時に昔の日本のファッションについて目を向けてみてはいかがでしょうか。本を通じてきっと何かが見えてくるでしょう。

きむら あい (大学院1年次生)



服飾 (ファッション) 関係  
分類番号

服飾、服飾史	383.1
服飾と見廻品	589.2
衣服、裁縫	593